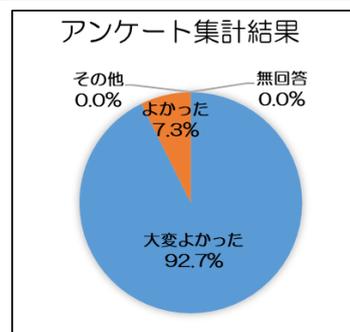


令和5年度 職員研修講座 幼児教育研修会Ⅰ【基礎】

目的	乳幼児教育・保育の基礎について学び、職員の資質向上を図る
日時・形式	令和5年10月3日（火）10：00～12：00
対象	乳幼児教育・保育施設等の経験年数5年未満の職員
演題	保育者としての私はどのような姿勢で子どもと向き合えば良いのか？
内容	講義
講師	広島大学大学院 教授 中坪史典 氏

参加者（合計 41 名）			
保育所	幼稚園	認定こども園	その他
22	2	16	1



【感想】

- 普段、自分が行っている保育を振り返り、今日の講座でのことを実践できていないことが多くあると思った。今日聞いたことを今後の保育に活かしていきたい。
- 子どもと関わることの大切さ、関わり方、保育の展開の仕方など様々な事を学ぶことができ良かったです。特に子どもの力を信じることで保育のやり方も変わってくるのだと思いました。
- 自分の園だけではなく、他園の方の意見や考え方を伺える機会もあり、とても良かったです。4つのエピソードを元に改めて考えさせられることや、学びがありました。
- 日々の保育と重なるところや、子どもたちの言動には、こういう意味があったのかと考える部分があった。園に持ち帰り、保育者間との共有・連携がとれるといいなと思う。
- 日々の子どもの観察は大事で、その子が今、何に興味を持っているのかしっかり把握し、その後どのような保育をしていくかが子どもの探求心の広がりにつながるので、しっかり見守り保育計画を立てなければいけないと思いました。
- 子ども達が何に興味を持っているのか、それを保育者が気づけるかが保育の中で一番大事だと感じた。介入のタイミングは子どもによっても違うので、見極めながら保育をしていきたい。

